

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0110413994		
法人名	医療法人 福和会札幌立花病院		
事業所名	グループホーム 青空		
所在地	札幌市手稲区曙11条2丁目3番13号 (電話) 011-683-8718		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年2月7日	評価確定日	平成20年2月29日

【情報提供票より】 (20年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7人 非常勤 1人 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	4階建ての ~ 1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円	その他の経費(月額)	10,000円
敷金	有(円)	○無	暖房費 8,000円
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900 円

(4) 利用者の概要 (1月15日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1	1名	要介護2	4名			
要介護3	2名	要介護4	2名			
要介護5		要支援2				
年齢	平均	89歳	最低	74歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 福和会札幌立花病院・佐藤歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地から少し離れた、静かで交通量の少ない恵まれた環境に建てられており、運営母体である病院とケアハウスが通路でつながっている。医師である理事長は、毎朝ホームを訪れ、利用者の健康管理を行なっており、利用者のみならず家族の安心にも繋がっている。ホーム内は明るく共用空間も広く、居間の大きい窓からは中庭も見渡せるようになっている。また隣接する多目的ホールでの様々な催しにも参加しやすく、利用者の楽しみとなっている。管理者はじめ職員はベテランの方が多く、落ち着いており、言葉掛けや態度も穏やかで、利用者もゆっくり・のんびりと、生活している。利用者の日々の暮らしについても常に職員間で話し合いがもたれており、利用者が安心した生活をおくることができるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善項目「権利・義務の明示」は、重要事項説明書に記載されている。食事についても職員と一緒に食事をし声掛けや見守りを行っている。会議は毎朝のミーティングのほか、月1回行なっており記録も作成されている。外部研修については、まだ十分ではなく今後の取り組みに期待する。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者及び職員は、評価の意義と活用の仕方を理解しており、日々実践しているケアサービスを振り返りながら全職員で自己評価に取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2カ月に1度順調に開催されており、前回評価での改善課題とその後の取り組み状況ほか、事業所の状況報告や行事予定など意見交換を行ない事業所の運営に活かしている。会議記録も整備されている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 事業所内の苦情窓口を重要事項説明書に明示している。事業所の担当や行政の窓口のほか、第三者委員も明示してあり外部に伝える機会を設けている。また家族が来訪した際に意見を伺ったり利用者の様子をお知らせしたりして今後の運営に反映させている。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入しており、町内会長や老人会の会長に推進会議に出席して頂いたり、散歩の際に地域の方と挨拶を交わしたりまた近隣の保育園や小学校との交流もあり地域住民との関係が深まりつつある。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所以来、運営理念と介護理念を掲げて、理念の達成に向けて日々のケアに活かし努力しているが、地域密着型サービスとしての内容が含まれていない。	○	地域密着型サービスの意義をもとに、地域の一員としての人間関係を築き交流を深める理念をパンフレットにも掲げ、事業所の方針目標に反映させる取り組みを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者はじめ職員は理念が記載されているカードを携帯し、職員同士、常に話し合いを持ちながら日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は町内会に加入しており、散歩の際には地域の方と挨拶を交わしたり、近隣の保育園や小学校との交流もあり、運動会に参加をしたり法人が企画した多目的ホールで行なわれる催しに参加して頂くなど、地域住民との関係が深まりつつある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、評価の意義と活用の仕方を理解しており、自己評価は職員全員で話し合い記入をしている。前回の改善項目についても取り組みを行ない、具体策を検討し、実践に向けて取り組んでいる。		

札幌市手稲区 グループホーム 青空

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヵ月に1度順調に開催されており、前回評価での改善課題とその後の取り組み状況ほか、事業所の状況報告や行事予定など意見交換を行ない、事業所の運営に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の管理者会議出席のほか、事業所は行政と常に連携を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヵ月に1度「ホーム便り」を郵送し、日常の暮らしぶりや行事の様子などをお知らせしているほか、家族に電話をかけて近況を伝えたりしている。金銭出納の明細も毎月郵送している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方が来訪した際に意見や要望を伺ったりしている。苦情窓口も事業所の担当や行政以外に第三者委員も明確にし、外部に意見や苦情を表せる機会を設け、今後の運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はできるだけ避けるよう取り組みを行なっているが、代わる場合は1ヵ月引き継ぎ期間を設け、利用者の不安を防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人主催の職員合同研修は充実しており、研修記録もファイルされているが、外部研修は、管理者と一部の職員のみとなっている。	○	運営者は職員が外部研修に参加する機会を設けることが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は区の管理者会議に出席し同業者間の意見交換や勉強会を行なっているが、職員は同系列ホーム以外の同業者と交流する機会がない。	○	運営者は職員が同業者との勉強会や意見交換など、交流する機会を設け相互の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みを期待する。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	開所当時から利用者が多いが、サービスをいきなり開始するのではなく、利用者が安心して生活ができるように、利用者や家族にホームを見学して頂いたり、十分な話し合いを持ちながら進めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活において、職員は利用者へ、家族のように接することを心掛けており、調理方法を教えて頂いたり、洗濯物をたたんで頂いたり、ともに支えあいながら生活する関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で利用者同士の会話やしぐさの中に暮らし方の希望の把握に努めている。困難な場合は家族から得た情報や過去の経歴をもとに職員で話し合いを持ち、意向に沿えるように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員が利用者に係わり、気付いたことはこまめに記録をし、ミーティングで職員の気付きを集約して介護計画に反映させている。また家族からの意見も取り入れ、利用者にとってより良い暮らしができるよう介護計画を作成し実践している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヵ月毎に見直しを行なっているが、利用者や家族の希望を取り入れたり、状態の変化に伴い、その都度見直しを行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じ、隣接する病院のほか外部の眼科への通院介助や買物へ付き添うなど、その時々で柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	経営母体が医療法人で、隣接している病院が、利用者の健康に関して適切な相談を受けられる体制になっている。医師である理事長は毎朝ホームを訪れ利用者の健康管理を行ない、利用者のみならず家族の安心にも繋がっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合における対応指針を作成し同意を得ているが、本人や家族の気持ちに配慮をし、その時々々に再確認をし、十分話し合いを持ちながら慎重に取り組みをしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、言葉掛けには十分な注意を払いながら、プライバシーを損ねる言動を摂らないように配慮をしている。また、個人情報の取り扱いについても利用者や家族の同意文書が作成されており、書類も鍵の掛かる場所に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの声に耳を傾け、その日の体調や希望に合わせ、できる限り希望に沿うように支援をしたり見守ったりしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も利用者と一緒に食事をし、さりげなく見守ったり声掛けをしている。食事の準備や後片付けはできる範囲でお手伝いをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回午後ゆっくり入浴して頂いているが、利用者の希望や健康状態に配慮をしながら支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し、庭仕事や手芸、音楽、オセロなど利用者が得意とすることをさりげなく見守り支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所内だけで過ごさずに近くの公園に散歩へ行ったり、隣接する多目的ホールでの催しに参加をしている。また同系列のホームとの合同収穫祭や納涼大会など利用者の希望を取り入れながら支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は施錠しておらず、隣接するケアハウスの職員からは、ホームの出入りが確認できるようになっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署員立会い下、昼夜を想定した避難訓練や救出のほか必要な訓練を実施している。緊急のマニュアルも作成されており、隣接している病院やケアハウスの協力体制も整備されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の水分摂取量や食事の量はきちんと記録されており、一人ひとりに必要な食事や水分が採れるよう支援している。毎日の食事は栄養士が献立を立てておりバランスの良い食事が提供されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広く、全体に明るく台所も回廊式で使いやすくなっている。居間の壁には利用者の写真や季節感を取り入れた飾り付けがしてある。大きな窓からは中庭を見渡すことができ、利用者が居心地良く過ごせる場所となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、利用者が使い慣れた馴染みの家具や趣味のものが持ち込まれていて利用者が安心して暮らせる配慮がされている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。